

地区名 由利本荘市・にかほ市

所在地 由利本荘市矢島町立石

バス駐車 × 大地のつくり

トイレ × **水のはたらき**

露頭までの道のり

由利本荘市矢島町長泥から木在地区を結ぶ道路沿いが観察場所。観察場所は立石地区となる。

安全上の留意点

近くに公共施設がなく、露頭自体も小さく狭いので大人数での観察は難しい。露頭がやぶの中にあたり道路脇だったりするのでけがや事故には十分注意させたい。露頭が崩れやすいのでむやみに登らせないことが大切。

観察のポイント

- ①厚く泥の層が堆積していること。
- ②粒が細かな泥岩の手触りを感じる。
- ③角ばった火山岩がないこと。
- ④大きな地層の広がりを感じる。

地質年代

新第三紀中新世中期～後期(約1100万年前頃)

解説

女川層と見られ、秋田県がまだ深い海底であった頃に堆積した泥の層が観察できる。泥とは言ってもとても硬く、化石は魚の鱗や骨などがでる層であることが報告されているが、今回の調査では化石らしきものを発見するに留まった。どこを見ても泥の層であり、角ばった石などがいないことから「水のはたらき」でできた大地だと判断できる。

(筆者独自調査)

露頭概観

指導形式

B



硬い泥の層が露頭全体に広がっている。上から崩れてきた破片が足下に数多く見られる。



手に取るとその硬さがよく分かる。軍手をして作業した方がよい。手触りはこの近くの露頭YN-05と同一である。地層が広がっていることを感じさせる。



大きな泥岩をハンマーで割ってみたところ、白い貝の化石らしきものが見られたが、詳しいことは分からない。